

(41) さといも

ア 各病害虫の防除

疫病

汚斑病

乾腐病

黒斑病

根腐病

アブラムシ類

コガネムシ類(幼虫)

ハスモンヨトウ

ハダニ類

センチュウ類

ア 各病害虫の防除

【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

- ・濡れの悪い作物については、[農薬安全使用に関する参考資料の章の「展着剤の分類とその機能」](#)を参照し、展着剤を加用する。

疫病

(判断、防除に関する措置)

- 1 病原菌はサトイモ属に寄生する。
- 2 病原菌は10～35℃で生育する。平均気温25℃以上の連続降雨で蔓延しやすい。
- 3 本病の発病部位から細菌性病害が二次的に寄生すると甚大な被害となる。

(耕種的・物理的防除)

- 1 種いもは健全なものを使用する。
 - 2 ほ場の排水対策を徹底する。
 - 3 発病した茎葉はほ場外に持ち出し適切に処分する。また、発病したほ場の収穫残さは翌年の伝染源となりうるので適切に処分する。
 - 4 発生ほ場は収穫後にロータリーで耕耘して残さを破砕する。翌春までに数回耕耘し、残さの分解を促進する。
 - 5 ほ場周辺の野生生えイモは伝染源となる可能性があるため除去する。
- ※ 種いも洗浄に使用する浸種用水は次亜塩素酸カルシウム(カルシウムハイポクロライト)70.0% 50,000倍液とする。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 土壌消毒を行う([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。
 - 2 植付前に種いもを薬剤に浸漬する。
 - 3 薬剤を散布する。薬液をほ場内にムラなく散布できるよう、ほ場内に通路や散布スペースを設けておく。
 - 4 薬剤散布の際は、展着剤を加用して、薬液を葉に十分付着させる。
- ※栽培初期から蔓延すると著しく減収するので、定期防除に努める。
※台風やまとまった降雨があった場合は、早急に薬剤を散布する。

汚斑病

(耕種的・物理的防除)

- 1 8月上旬から被害部を集めて土中深く埋める。
 - 2 肥料3要素の配合に気をつけ、窒素偏用を避ける。
- ※陰湿地及び窒素過多の場合に多く発生しやすい。

乾腐病

(耕種的・物理的防除)

- 1 種いもは健全なものを使用する。
- 2 発病ほ場は3～4年、イネ科植物と輪作する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 土壌消毒を行う([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。

黒斑病

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 植付前に種いもに薬剤を処理する。

根腐病

(耕種的・物理的防除)

- 1 種いもは健全なものを使用する。
 - 2 発病ほ場では3～4年以上さといも以外の作物と輪作する。
- ※セレベスは、特に発病しやすいので注意する。
- 3 催芽床の用土は、山土又は畑の心土を用いる。

アブラムシ類

(予防に関する措置)

- 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。
- 2 有翅虫の飛来を防止するため、光反射資材によるマルチ若しくはシルバーテープ又は風上方向に防風垣若しくは防風ネットを設置する。

(判断、防除に関する措置)

- 1 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 発生初期に薬剤を散布する。

コガネムシ類(幼虫)

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 植付け 10～15 日前に D-D を全面又は作状処理する。
- 2 植付け前に薬剤を全面土壌混和する。
- 3 生育中はオンコル粒剤 5 を株元土壌混和する。

ハスモンヨトウ

(予防に関する措置)

- 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。

(判断、防除に関する措置)

- 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。
- 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。
- 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。
- 4 作物残さを適切に処分する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 交信かく乱剤を活用する。
- 2 生物農薬を散布する。
- 3 発生初期に薬剤を散布する。

ハダニ類

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生初期に薬剤を散布する。
- ※高温時の散布は避ける。

センチュウ類

・ [共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 植付前に薬剤を処理する。